

支援センター名	城端地域子ども元気活動支援センター		
所在地	〒939-1892 富山県南砺市城端1046番地 南砺市城端行政センター（教育委員会城端分室）		
連絡先	Tel	0763-62-1212	Fax 0763-62-3500

事業の概要とポイント

学校の完全週5日制の施行に基づき、子どもたちの余暇を明るく健全に利用するための機会を設けてほしいとの相談を受け、コーディネーターが地域の大鋸屋地区公民館に相談して、両者を結びつけて体験活動の機会を設け、成果を上げた。

関係した学校・団体等の名称

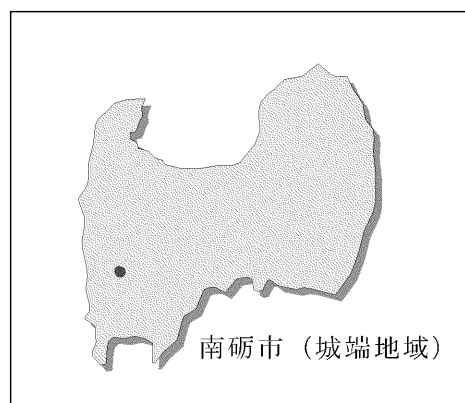
大鋸屋公民館

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 南砺市城端地域大鋸屋地区
1,666人

大鋸屋地区は、砺波平野南部の高清水山麓に位置し、古くから五箇山街道が整備され五箇山との交通の要所として重要な役割を果たしてきた。地区には、整備された福祉の里や水車の里がある。産業としては、水稻、干し柿の産地として知られる。縄ヶ池、夫婦滝、高落塚山のブナの原生林、パラグライダーの発進基地、つくばね森林公園など豊かな自然に恵まれている。

住民の高齢化がすすんでいるが、三世代交流をすすめる、地域で子どもを育成することに熱心である。



企画から活動までの経緯

- 平成16年4月10日 完全学校週5日制の実施に基づき、子どもたちに余暇を明るく、健全に活用できるような文化的・体育的活動の場を提供することを目的とした事業を、公民館事業の中で実施できないか協議した。
- 4月17日 親子、三世代で活動できるプログラムについて協議した。
- 4月24日 今年度のプログラムを計画した。
- 7月～ プログラムの実施
- ① 紙飛行機づくり
 - ② 乗鞍登山
 - ③ 縄ない教室
 - ④ 親子料理教室
 - ⑤ ふるさとを歩く会

事例の展開内容（特色など）

- 7月3日（土）親子ものづくり教室「親子紙飛行機づくり」
（親子で協力してものづくりを楽しむ）
親子で紙飛行機をつくり、一緒に飛ばした。子どもがカッターやはさみを使うところでは親が補助し、子どもは思い思いの色を塗って仕上げた。
- 7月28日（水）夏休みふれあい教室「乗鞍登山」
（大自然の中で自然と植物について学ぶ）
登山を通して大自然のしくみや高山植物について学んだ。今年は、北アルプスの乗鞍登山をおこなった。天候にめぐまれ、快晴のもと、親子や地区のお年寄りとの交流もおこなうことが出来た。
- 8月12日（木）レクリエーション大会「縄ない競争」
（三世代交流をすすめる）
地区運動会のプログラムのひとつである「縄ない」競争に向けて、お年寄りと親子で縄ないの教室を開いた。

企画・活動する上でのポイント、留意点など

- ・親子活動を中心に地域の人材を講師に、事業を企画・実施した。
- ・感動の共有化及び安全面の配慮のため、家族で参加することを原則とした。
- ・小さい子どもから高齢者（家族や指導者）を異年齢のグループにし、交流が生まれるようにした。
- ・知的欲求に応えるために自然や動植物に詳しい専門家に加わってもらった。

評 価

毎年同様な活動も実施しているため、子どもたちが年々逞しくなっている様子が分かる。また、指導者も的を射た助言や配慮ができるようになってきた。子どもたちは、異年齢間の交流や地域の方々と接点をもつよい機会となり、新しい交流の輪が生まれている。

登山やものづくりが中心の体験活動のため、保護者から家庭ではできない活動だと感謝されている。子どもにとっては、最後までやり遂げる喜びと苦しみを味わいながらも、親の過干渉からの脱却の場ともなっている。

保護者同伴にすると、仕事を休めない保護者がいるため、やむを得ず不参加になる子どもが出てくる。今後、参加条件を吟味する必要がある。また、参加したくても、学校行事や部活などが重なり、やむを得ず欠席する子どもがいる。各種事業の催し物と重なり、特に土日は子どもの取り合いになっている感がある。そのため、他団体や関係機関と連絡を取り、参加しやすい日を選んでいきたい。

土日や休日の活動は、施設や活動場所（山、公園等）が混み合う場合があるので、安全面やスケジュールに配慮しなければならない。

執筆者職・氏名：南砺市教育委員会 城端分室 山 本 洋